

新井中央小だより

No. 294

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2024（令和6）年5月10日

社会性を育てる「なかよし班活動」

ゴールデンウィーク中に開催された日本陸上競技選手権大会で、当校卒業生の小海遙さん（第一生命グループ）がオリンピック出場をかけた女子10000mのレースに挑みました。レース序盤から勝負し、全力でやり抜く姿を見て感動しました。今から9年前にこの新井中央小学校を卒業し、夢と目標をもって大きな舞台でがんばり続けている姿は、きっと今後も289名の児童にも希望を与えることになるでしょう。また、レースの時間に、妙高市でパブリックビューイングが行われました。地域の方や恩師、つながりがある方が参加し、応援している姿にも感銘を受けました。小海選手のやる気や粘り強さなどのがんばりにつながるそのエネルギーの源の一つに、このような地域の方の励まし応援、様々な人とかかわりがあるのではないかと想像しています。

さて、4月に入学した1年生、進級した2～6年生は連休後も元気に学校生活を送っています。先月末に、1年生に向け、2～6年生が「1年生を迎える会」を開いてくれました。「学校紹介」や「会場の飾りつけ」など、どの学年も、まさに1年生を励まし応援する姿が見られ、心に温かさを感じました。この「1年生を迎える会」の中で、なかよし班活動も行いました。なかよし班活動は、言わば縦割り班活動です。全ての学年で構成され、班内で発達段階に応じた役割が与えられること、異学年の子ども同士で関わる場面があること、問題を解決する場面があること、振り返り感謝の気持ちを伝え合うことができること、「きりりカード」を用いて自分や友だちの良さやがんばりを見つけことができること等が教育効果として挙げられます。これは、子どもたちの社会性（人間関係能力、自己有用感、規範意識、他者と共に問題を解決する力等）の育成につながります。そして、「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の合い言葉を達成できます。



なかよし班顔合わせ



なかよし班旗作り（1年生を迎える会）



なかよし班ゲーム（1年生を迎える会）

このなかよし班活動の中核となる活動として、今月16日に、「なかよし遠足」を実施します。遠足の中に様々な子ども同士の関わりが見られますし、そのかかわりが子ども大きく成長させます。かかわりの中では、意見の違いやトラブルも見られるかもしれませんが、しかし、歩み寄って解決したり、班員がみんなで考え決断したりすることで、子どもたちは力を付けます。また、遠足での取組は、日常の活動の中にも取り入れることで、さらに成長を促していきたいと思えます。お子さんがご家庭で、なかよし班活動のことを話題にすることがありましたら、寄り添って話を聞いてあげてください。成長につながる貴重な時間になると思えます。

(校長 小林 朋広)